

16. 公共下水道汚泥集約処理施設の 設置及び管理運営に関すること

経緯

平成15年の供用開始から8年が経過した。市町村合併後も塩尻市檜川浄化センターの汚泥処理を受託していたが、平成20年度で終了した。

脱水汚泥の処分は、平成23年度からは全量県内の産業廃棄物処理業者で、肥料化によるリサイクルをしている。

現状と課題

平成23年度の下水汚泥処理量は、普及率の向上等により14,210 m³となった。しかし稼働率は5割程度で処理能力に余裕があることから、施設の有効利用を検討する必要がある。

今後の方針

設備の効率的な運用のため、隣接する環境センターのし尿と下水汚泥処理の一体化を、平成30年を目途に推進するほか、管理、補修、運転の方法について、効率的な運営を図る。

脱水汚泥の処分については、引き続きコンポスト化により、有効活用を進めていく。

施策

- ① 施設・設備の維持管理
 - ・機器類の点検及び修繕工事の実施
- ② 脱水汚泥の県内処理での資源化による有効活用
- ③ し尿と下水汚泥の一体処理方法の検討及び推進

■ 下水道汚泥集約センター 汚泥搬入量実績

| 処理場 | 年度別汚泥搬入量集計（立方メートル） | | | |
|------|--------------------|--------|--------|--------|
| | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 木曾福島 | 5,251 | 6,200 | 6,300 | 7,530 |
| 大原 | 110 | 110 | 100 | 120 |
| 日義 | 1,620 | 1,610 | 1,720 | 1,630 |
| 上松 | 1,700 | 1,910 | 2,200 | 2,370 |
| 妻籠 | 350 | 320 | 300 | 290 |
| 木祖 | 1,640 | 1,300 | 1,298 | 1,430 |
| 野尻 | 800 | 830 | 840 | 840 |
| 檜川 | 1,570 | | | |
| 合計 | 13,041 | 12,280 | 12,758 | 14,210 |

■ 下水道汚泥集約センター 汚泥搬出量及び処分方法

| 年度別脱水汚泥搬出量集計 (t) | | | |
|------------------|-------|-------|-------|
| H20 | H21 | H22 | H23 |
| 1,173 | 1,099 | 1,167 | 1,382 |

※ 搬出汚泥の処分方法

① 下伊那郡松川町汚泥処理施設

当初は焼却し、焼却灰をコンクリート製品路盤材等の原料として使用していたが、平成 20 年度に施設を更新し、炭化处理による土壌改良肥料を生産している。

② 新潟県糸魚川市セメント製造工場

平成 17 年 10 月からセメント製造原料（焼成）として処理委託を行っていたが、平成 23 年 3 月で終了している。

③ 木曾町日義汚泥堆肥化工場

平成 19 年から汚泥を原料として堆肥肥料を製造している。

※ 現在は、全量、県内の民間処理業者によりコンポスト化し再利用している。